

2026年6月期
決|算|説|明|資|料

西川計測株式会社
(証券コード：7500)

2026年8月21日

1.	西川計測について	03
2.	2026年6月期 決算概要	10
3.	2027年6月期 業績予想	25

01

西川計測について

会社名	西川計測株式会社
本社所在地	東京都渋谷区代々木3-22-7
営業拠点	鶴岡・福島・千葉・宇都宮・さいたま 八王子・横浜・大阪・神戸・大牟田 大分・熊本・沖縄
創業年月	1932年10月
資本金	5億6,937万円
従業員	411名（契約社員77名） ※2026年6月現在
代表取締役	田中 勝彦
上場市場	東京証券取引所 スタンダード 証券コード 7500



- | | |
|-------------|--|
| ● 1932年 10月 | 個人経営西川商会として創業
(株) 横河電機製作所製の計測器の販売開始 |
| ● 1951年 11月 | 株式会社西川商会設立 |
| ● 1964年 07月 | 西川計測株式会社に商号を変更 |
| ● 1996年 06月 | 株式を日本証券業協会に店頭登録 |
| ● 2004年 12月 | ジャスダック証券取引所に上場 |
| ● 2022年 04月 | 東証市場再編に伴い、スタンダード市場へ |
| ● 2022年 10月 | 創業90周年 |

みんなで良くなるろう

当社は「みんなで良くなるろう」という企業理念を基に、計測・制御・理化学のエンジニアリングを基盤として、あらゆる産業の発展に寄与し、広く社会に貢献していくことによりお客様、お取引先、株主の皆様、社員が良くなることをめざしております。



- 01 | お客様の期待を超える高付加価値のソリューションを提供する
- 02 | 環境保護、株主重視経営、雇用等を通じ社会的責任を果たす
- 03 | 企業倫理の尊重、法令遵守に努め、公正な経営を実践する
- 04 | 自立し誇りを持って、学び成長し続けるプロ集団を目指す

- 計測・制御・理化学をコラボさせたエンジニアリングサービスを提供
- システム設計から保守サービスまでのワンストップサービスを展開

エンジニアリングソリューション

- ◆ システム設計・施工 ネットワーク構築を含めたワンストップ対応
- ◆ ソフトウェアの開発・販売 ソフトウェアの構築やパッケージソフトの販売
- ◆ メンテナンス・保守 部品の交換、メンテナンス、予防保全など
- ◆ 計測器の販売 ニーズに合った最適な機器の提案・販売
- ◆ 理化学機器の販売 ニーズに合った最適な機器の提案・販売
- ◆ スタートアップ・トレーニング 専門スタッフによるトレーニング

製品別のソリューション

- ◆ プラント
- ◆ 理化学
- ◆ 計測
- ◆ 自動車・新エネルギー
- ◆ 光/Wireless通信



多種多様なお客さまに対して、ニーズに合ったソリューションを提供

品目別の売上構成比

— 西川計測について —

Nishikawa

- 以下の4品目で商品販売を展開
- 主力の制御・情報機器システムが売上高の50%超を占める

産業機器・その他

自動車をはじめとする輸送機器や半導体関連の環境試験装置などの研究開発分野に向けた当社オリジナルの試験装置を販売

主要製品

各メーカー（自動車・電機・機械など）向けオリジナル試験装置、各メーカー・学校向け各種実験プラント装置、受託計測、など



理化学機器

民間および官公庁の研究開発機関などで使用される、ラボ用分析機器などの理化学機器を販売

主要製品

ガスクロマトグラフ、液体クロマトグラフ、ICP質量分析装置、など



制御・情報機器システム

生産現場のPA化やFA化※を進めるための制御・情報システムのエンジニアリングを展開

主要製品

プロセスコンピュータ、温度計、流量計、圧力計、プロセスコントローラ、など

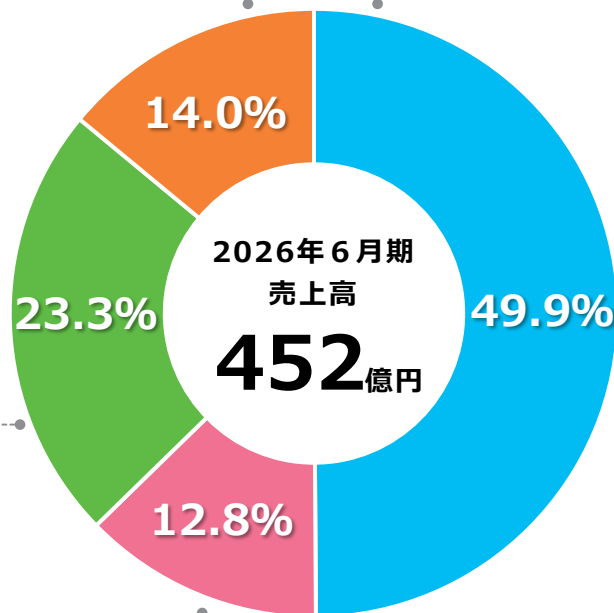


計測器

各業種の試験研究分野向けに計測器や計測ソリューションを提供

主要製品

デジタルオシロスコープ、ハイブリッドレコーダ、ICテスト、など



※PA化：プロセスオートメーション化 FA化：ファクトリーオートメーション化

- 幅広い業界とのお取引があり盤石な顧客基盤を確立
- 収益源が多岐にわたることから安定した売上高を実現

官公庁・学校

東京都水道局、千葉県水道局、阪神水道企業団、警視庁、税関、慶應義塾大学、東京消防庁、電気安全環境研究所、沖縄県企業局、日本電気計器検定所



自動車

本田技研工業、日産自動車、日立アステモ、デンソーテン、マツダ、いすゞ自動車、ブリヂストン、SUBARU



エネルギー

東京ガス、東京電力、九州電力、東京パワーテクノロジー、ジェイパワー・エンテック、沖縄電力、JERA



プラント・建設・非鉄

川崎重工業、大西熱学、メタウォーター、関電工、IHI、戸高鋳業社、神鋼環境ソリューション、太平洋セメント



電機・電子・通信

三菱電機、富士電機グループ、住友電気工業、東京エレクトロングループ、日本電気、日立製作所、マイクロンメモリジャパン、NTTグループ



食品・薬品・飲料

キリンビール、三和酒類、メルシャン、サントリー、ロッテ、興人ライフサイエンス、味の素、森永乳業、キューピー、日本たばこ産業、第一三共グループ



石油・化学・鉄鋼

レゾナック、ENEOS、住友化学、三井化学、旭化成グループ、日本製鉄



(順不同、敬称略)

02

2026年6月期 決算概要

決算サマリー（前期比）

— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 売上高、利益ともに過去最高を更新
- 受注高も過去最高水準を確保

	2025年6月期		2026年6月期		
(単位：百万円)	実績	構成比	実績	構成比	増減額（率）
受注高	43,830	-	48,351	-	4,521 (10.33%)
売上高	38,719	100%	45,220	100%	6,500 (16.8%)
売上原価	29,933	77.3%	35,264	78.0%	5,331 (17.8%)
売上総利益	8,786	22.7%	9,955	22.0%	1,169 (13.3%)
営業利益	3,757	9.7%	4,433	9.8%	675 (18.0%)
経常利益	3,918	10.1%	4,713	10.4%	795 (20.3%)
当期純利益	2,681	6.9%	3,293	7.3%	611 (22.8%)

当期純利益の増減要因（前期比）

— 2026年6月期 決算概要 —

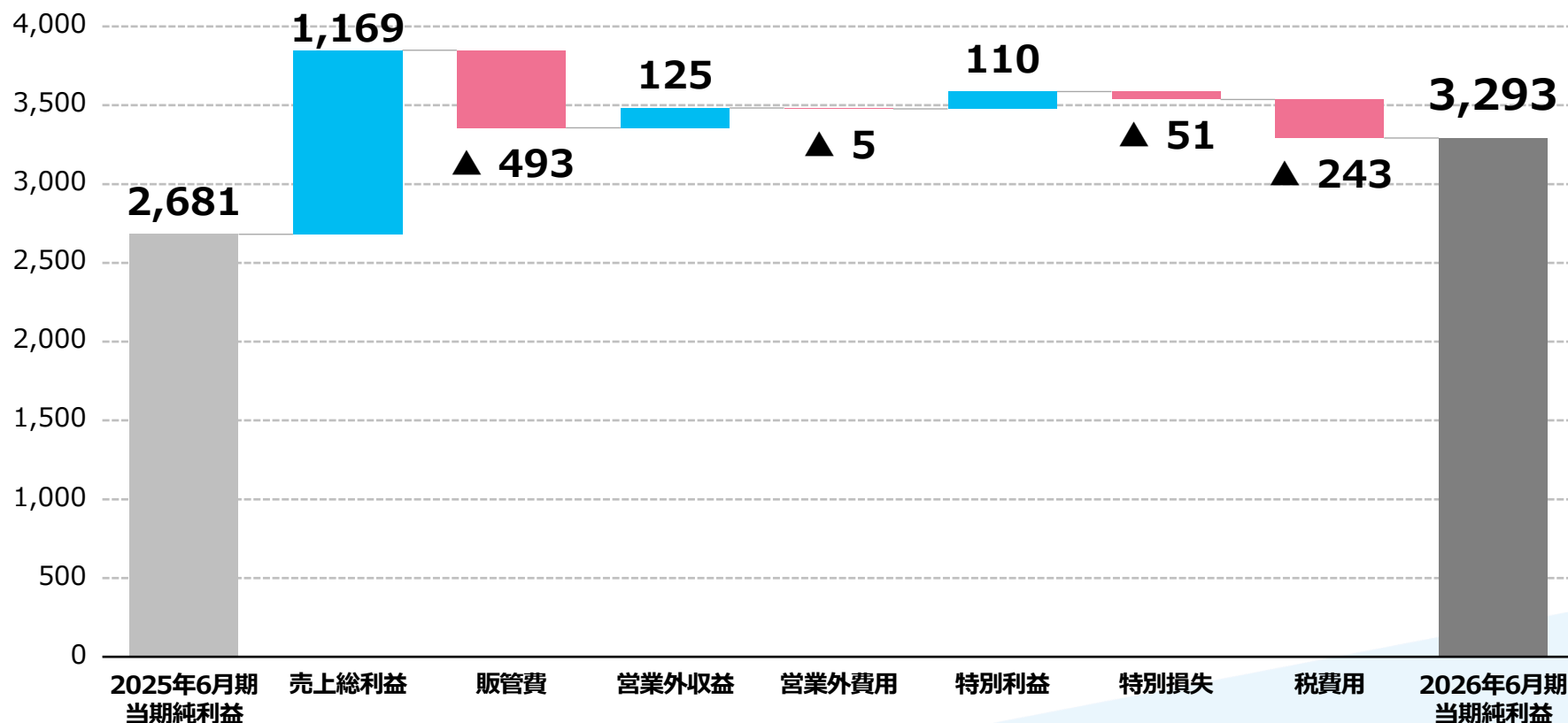
Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 販管費増加も増収効果により営業利益は増加
- 配当や利息収入の増加により営業外収益が拡大

（単位：百万円）

■ 増加要因

■ 減少要因



受注高・売上高の推移

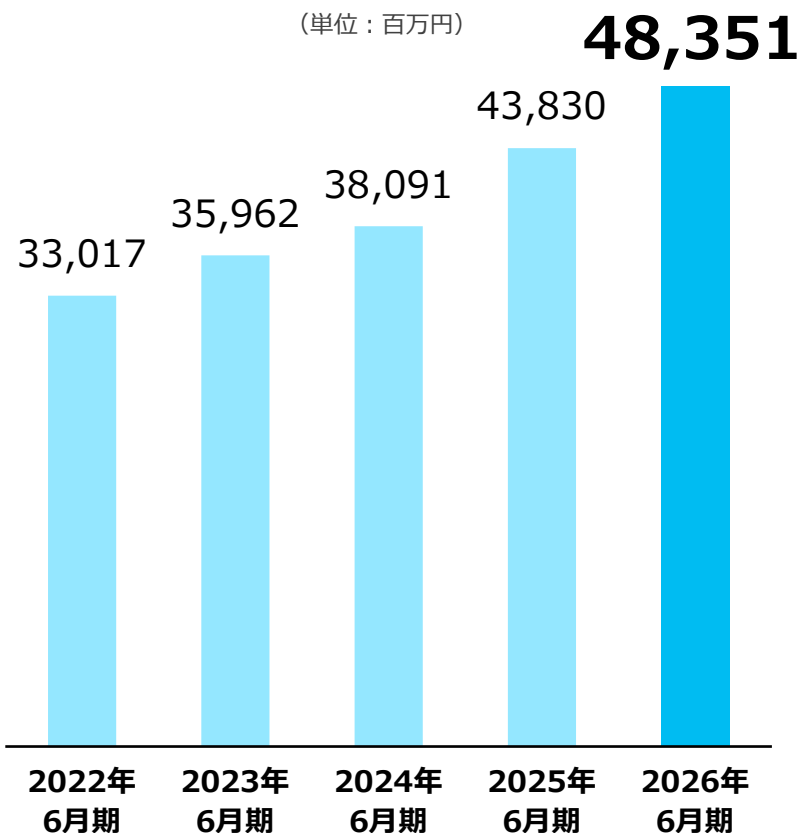
— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 受注高は、浄水場やエネルギー関係の大型設備更新案件が牽引
- 売上高は、ライフライン関連が堅調、自動車・通信関連が牽引

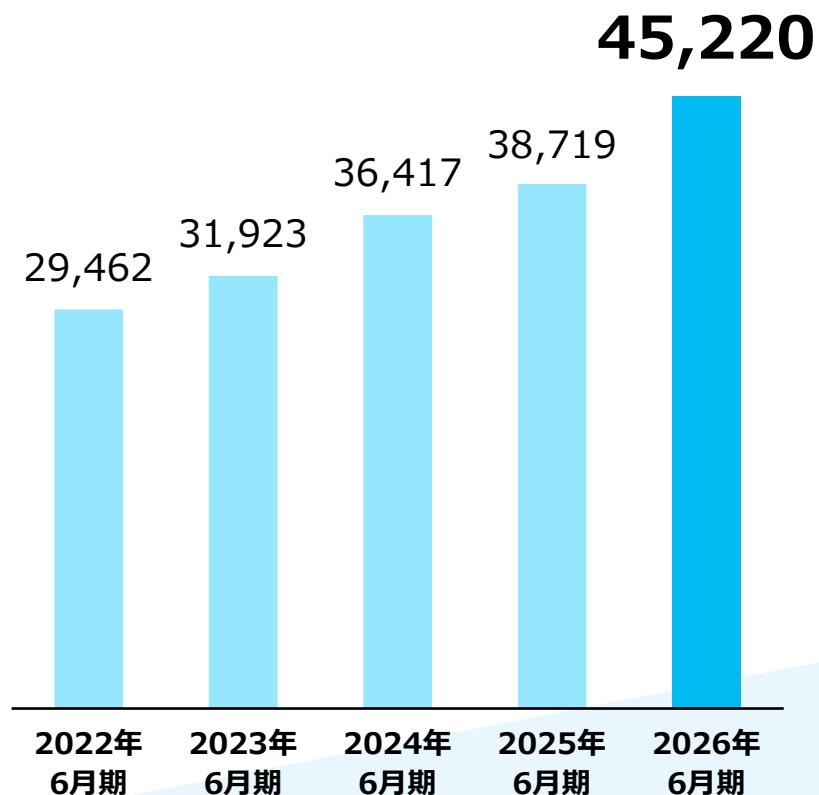
【 受 注 高 】

(単位：百万円)



【 売 上 高 】

(単位：百万円)



売上総利益・営業利益の推移

— 2026年6月期 決算概要 —

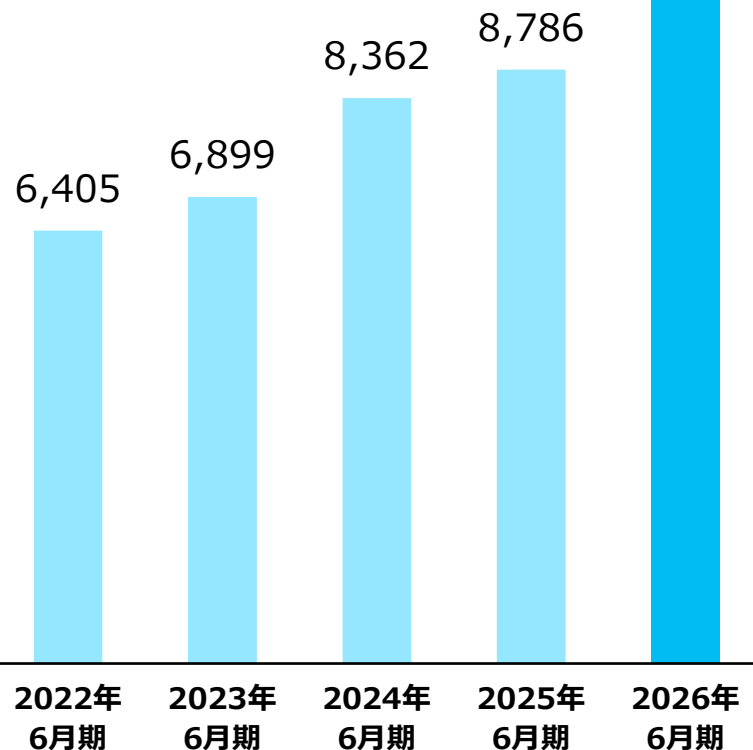
Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 売上総利益率はやや減少、増収効果に伴い売上総利益は増加
- 営業利益率は前期並み、増収効果に伴い営業利益も増加

【売上総利益】

(単位：百万円)

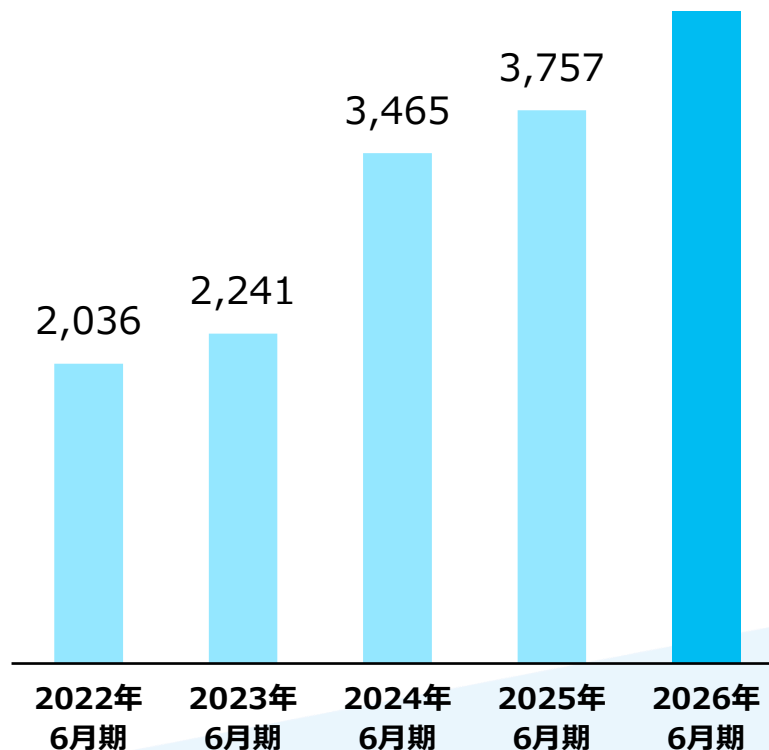
9,955



【営業利益】

(単位：百万円)

4,433



経常利益・当期純利益の推移

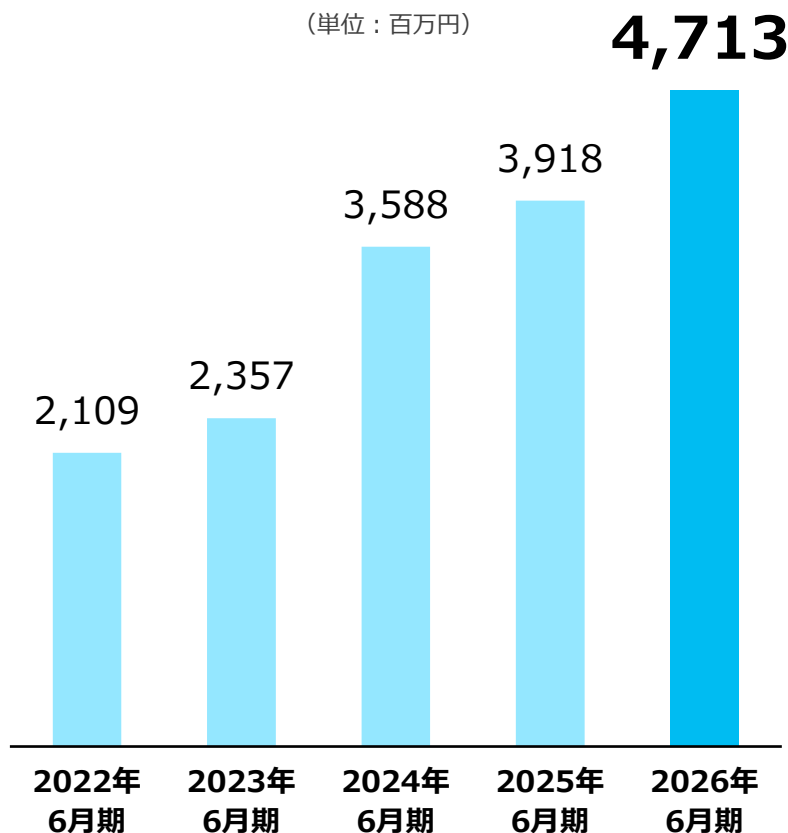
— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 受取配当金の増加により、営業外収入が増加
- 投資有価証券の売却益により、特別利益が増加

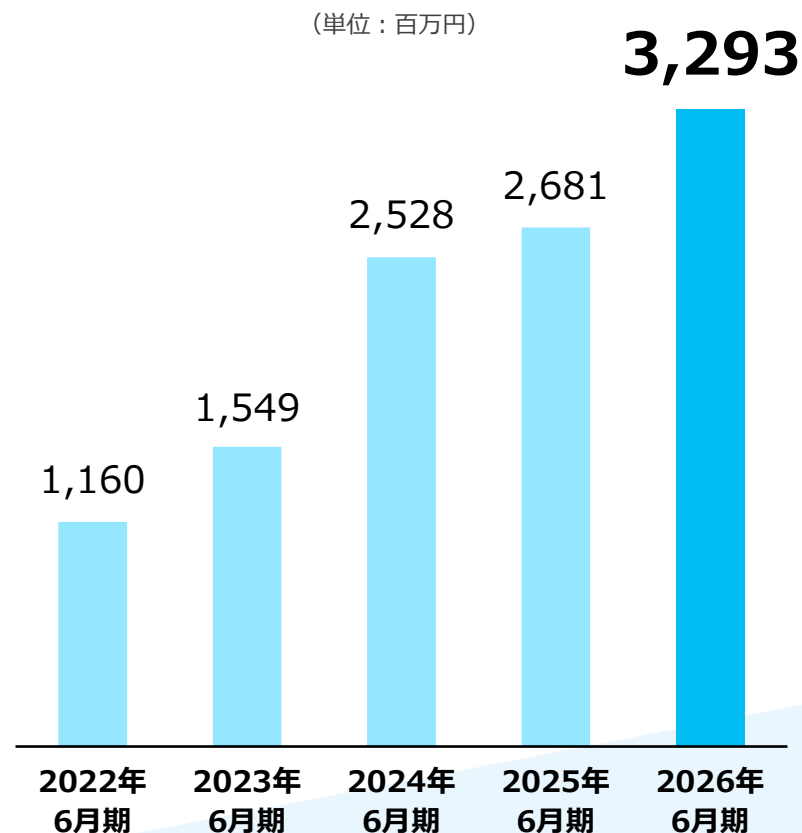
【経常利益】

(単位：百万円)



【当期純利益】

(単位：百万円)

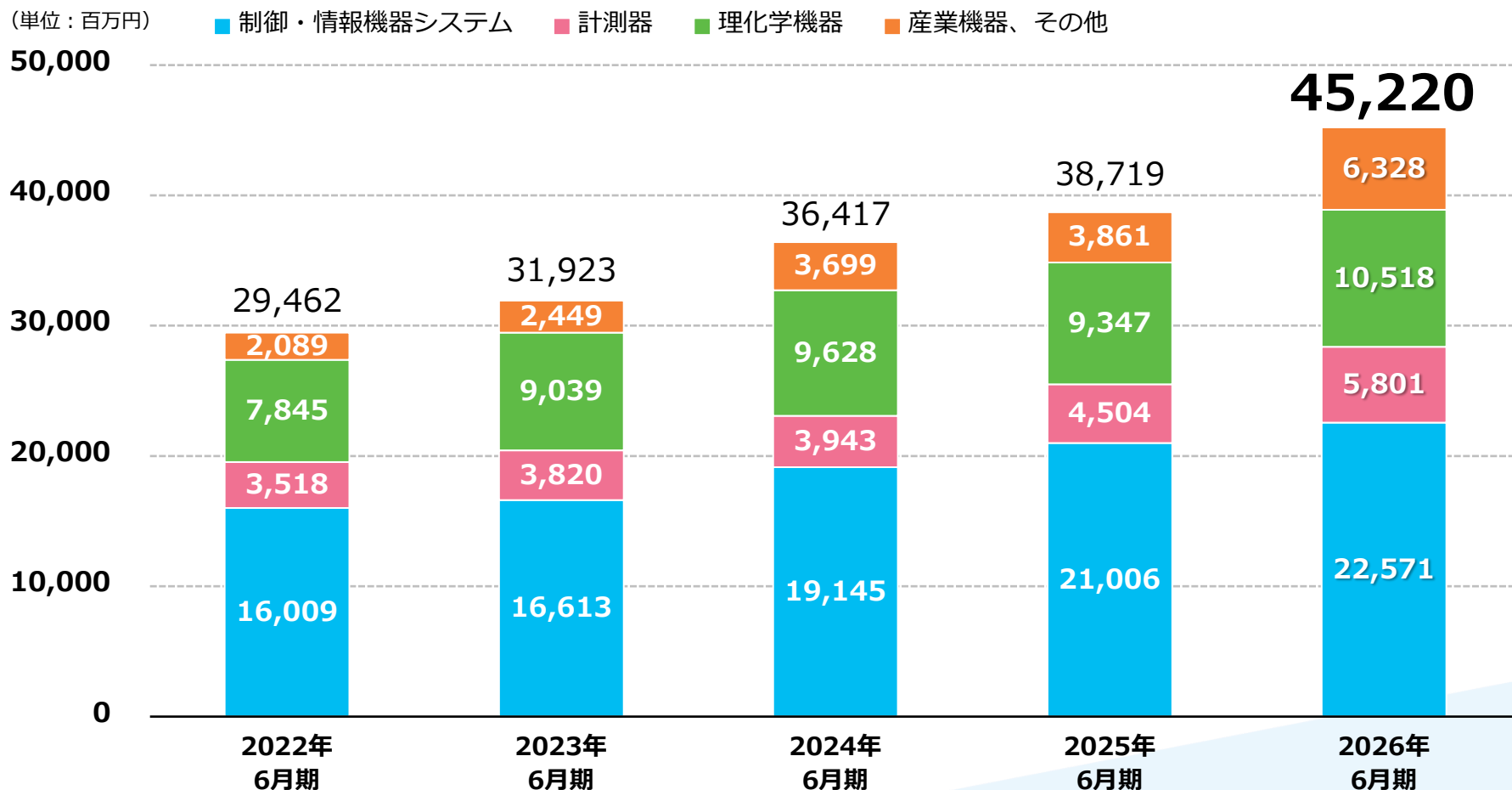


品目別売上高の推移

— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa KEISOKU

● 全品目において伸張り、過去最高の売上高を更新



品目別の業績推移 制御・情報機器システム

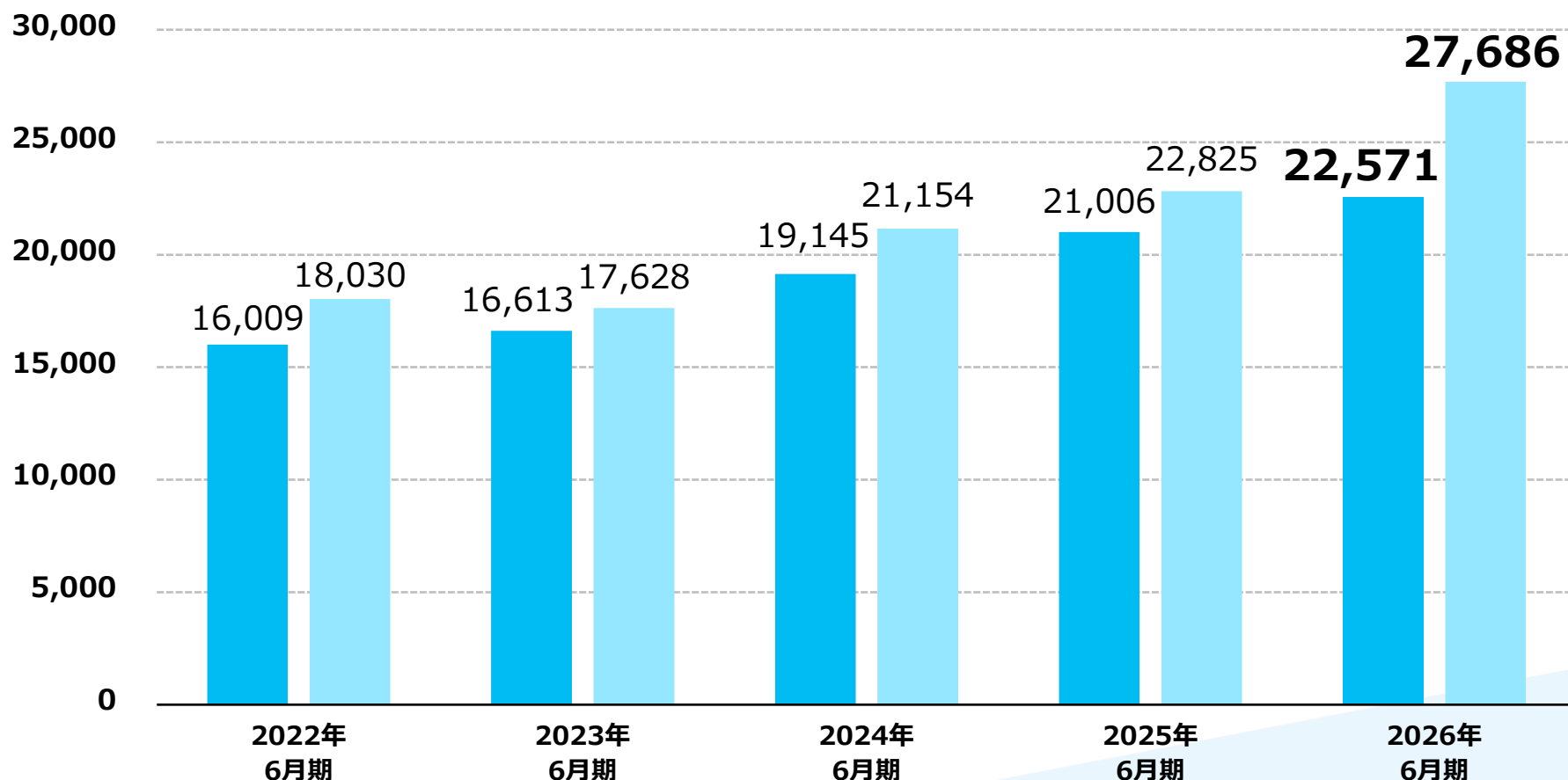
— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 売上高は、ライフライン関連の設備更新、石油化学プラントの大型定期修繕にて拡大
- 受注高は、浄水場やエネルギー関係の設備更新工事にて大型案件獲得を受け拡大

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 受注高



品目別の業績推移 計測器

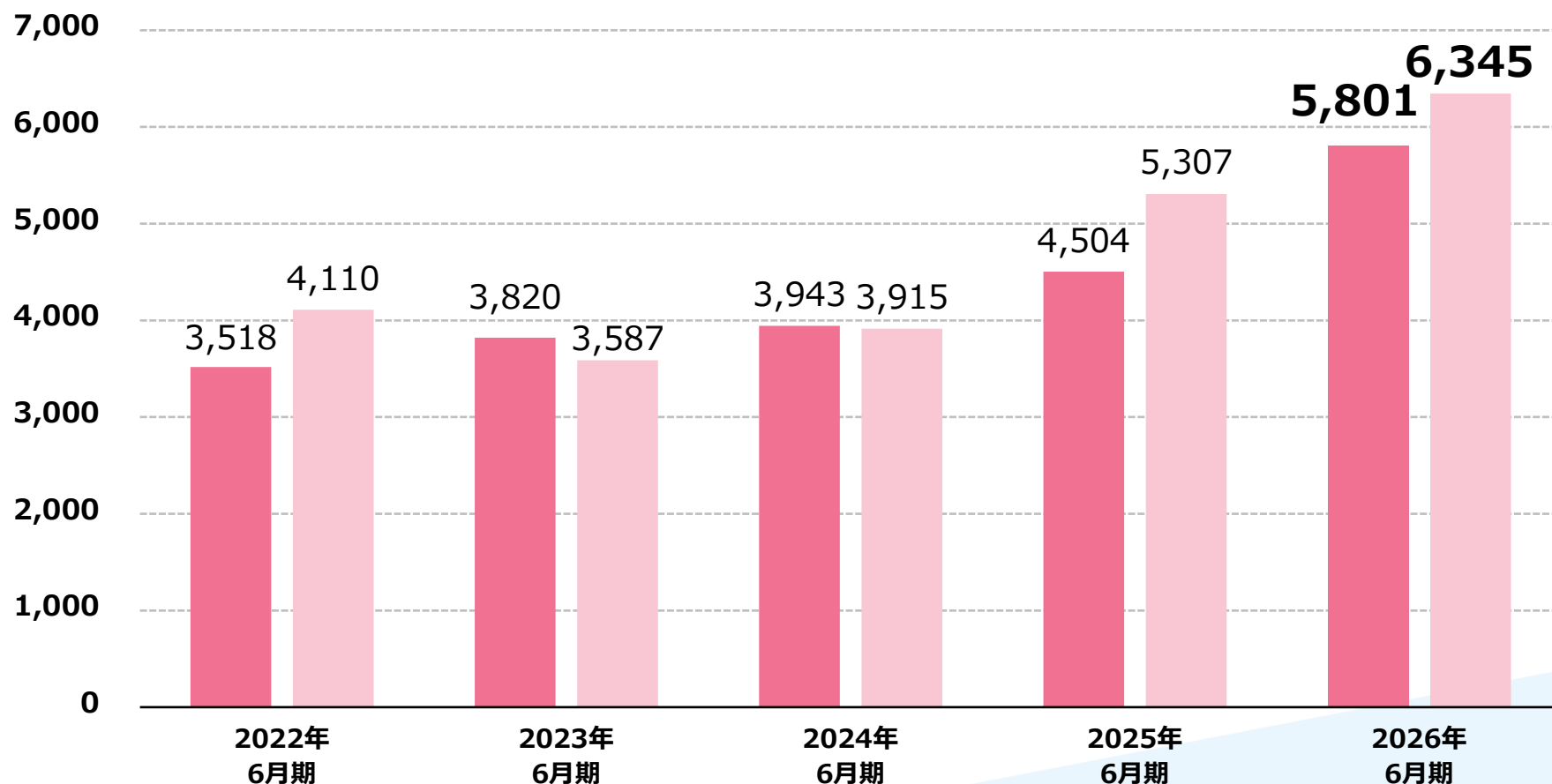
— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 売上高は、半導体・通信向けが牽引
- 受注高についても上記に同じ

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 受注高



品目別の業績推移 理化学機器

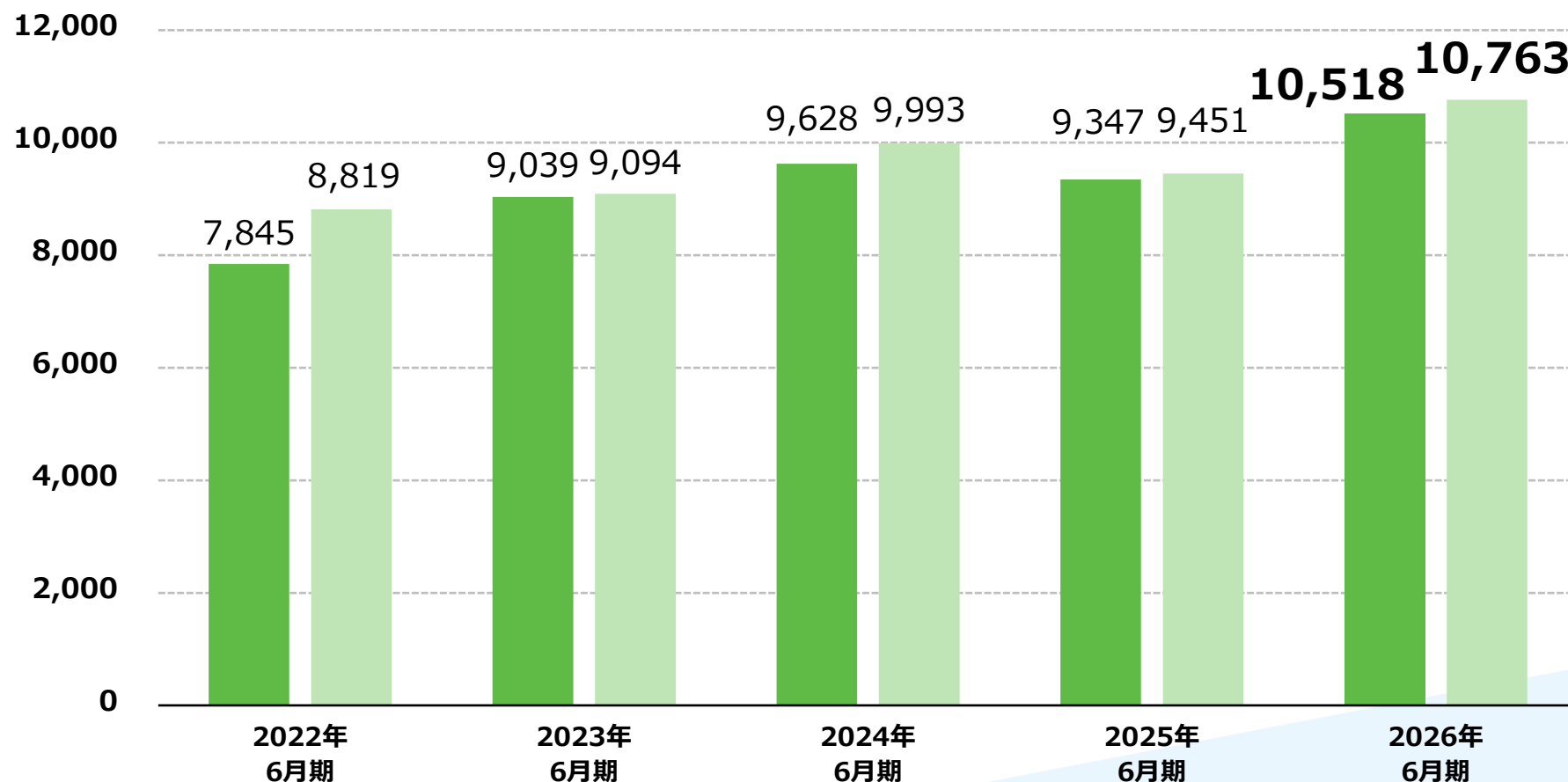
— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 売上高は、100億円の大台を突破
- 受注高は、ラボのワークフローやデータ管理への投資増加を受け拡大

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 受注高



品目別の業績推移 産業機器、その他

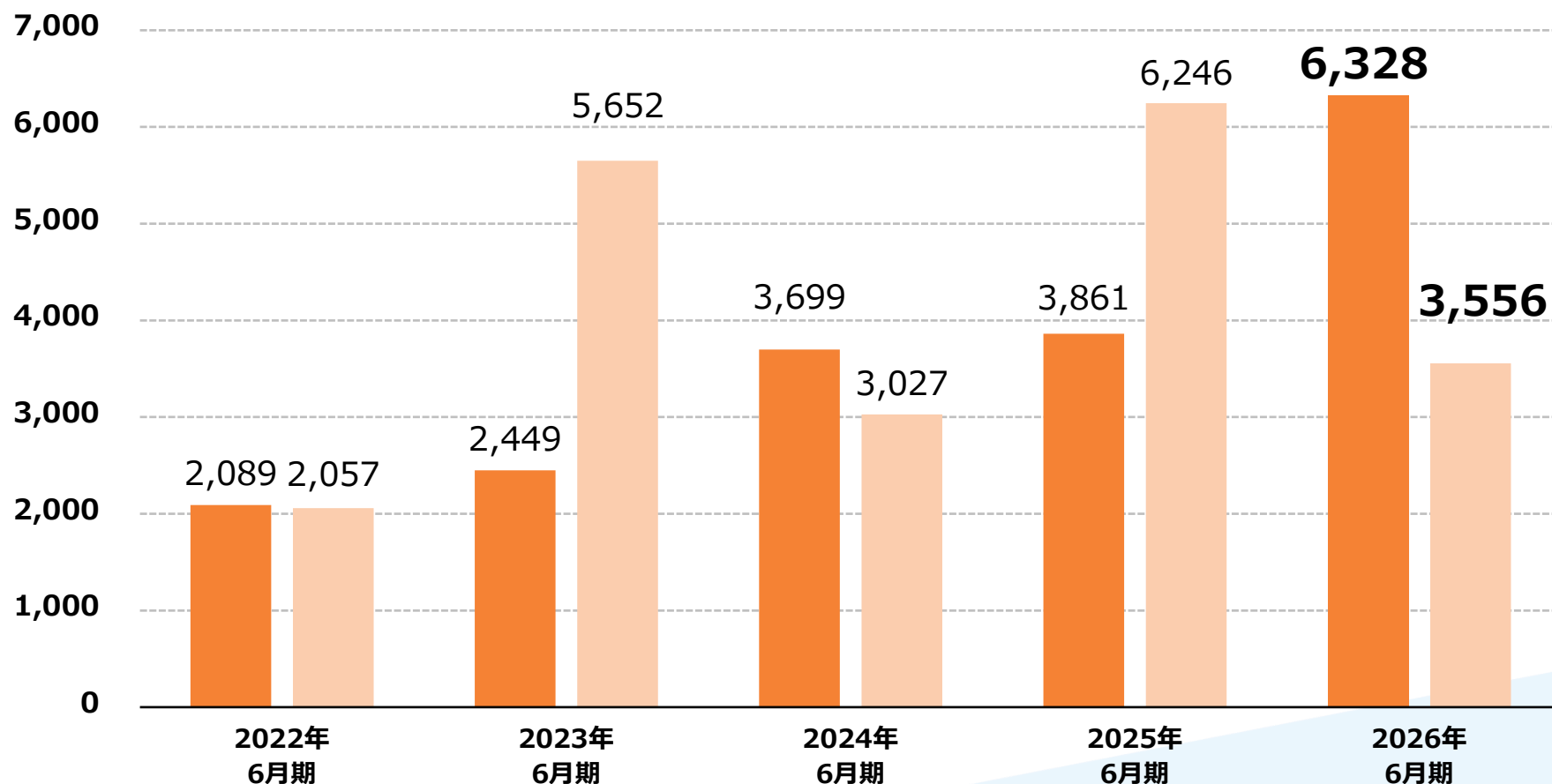
— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 売上高は、次世代モビリティ開発に向けた投資需要が継続
- 受注高は、自動車メーカーの設備投資見直しを受け減少

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 受注高



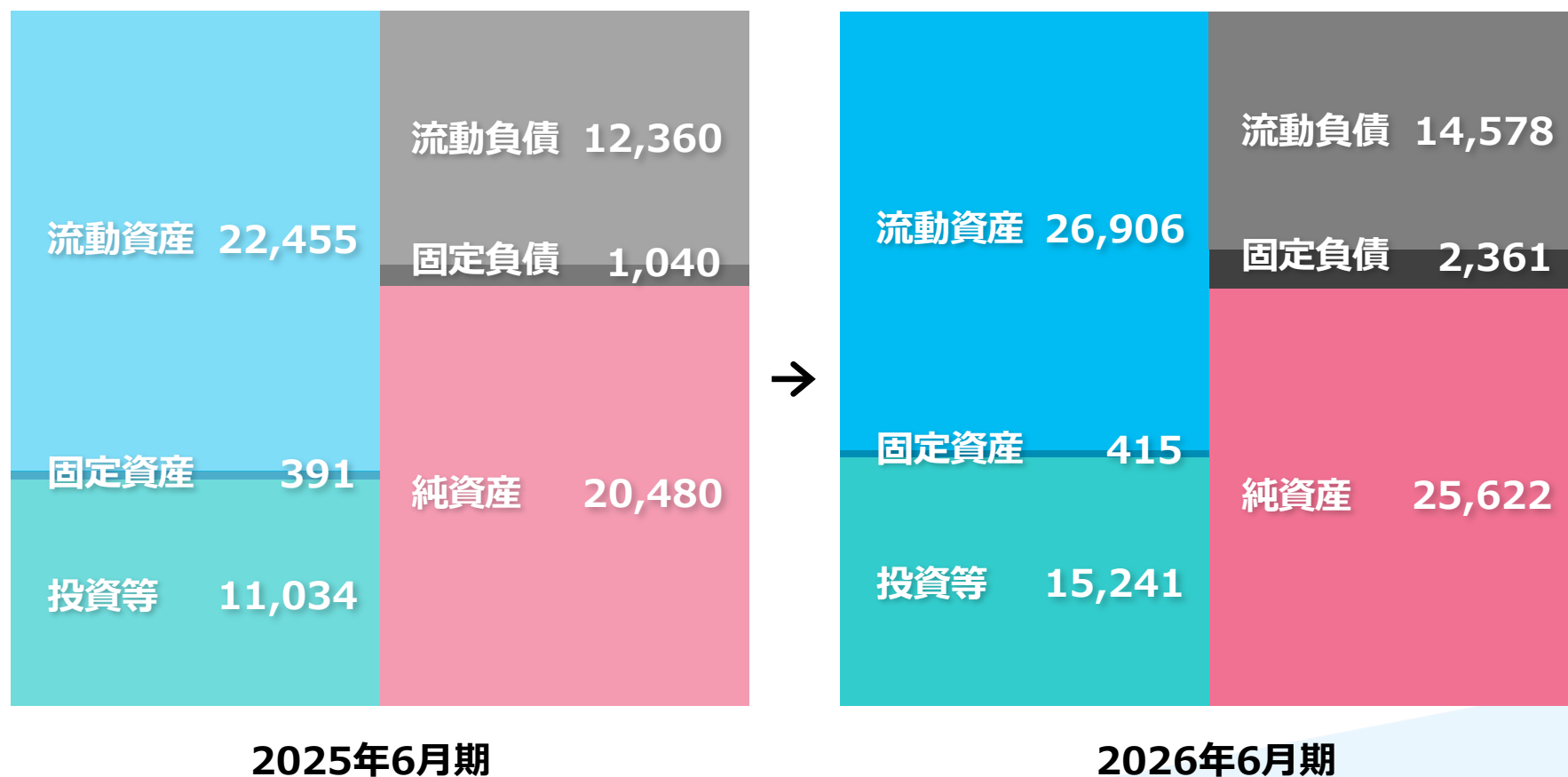
貸借対照表

— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa NISHIKAWA KEISOKU

- 資産は、425億円（前期比25.6%増）
- 純資産は、256億円（前期比25.1%増）

（単位：百万円）



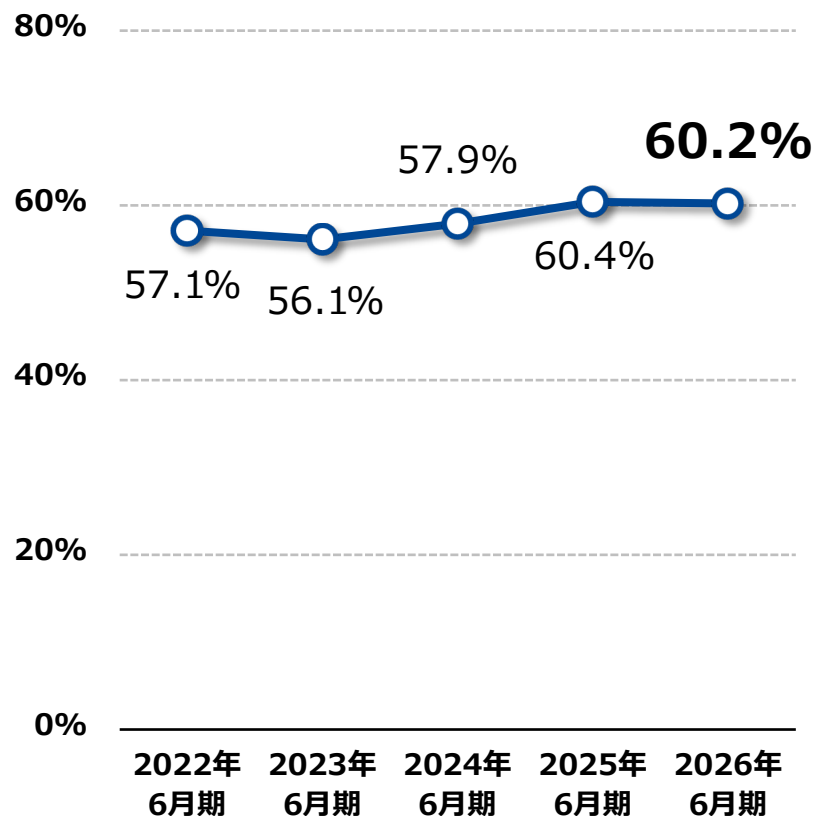
自己資本比率・ROEの推移

— 2026年6月期 決算概要 —

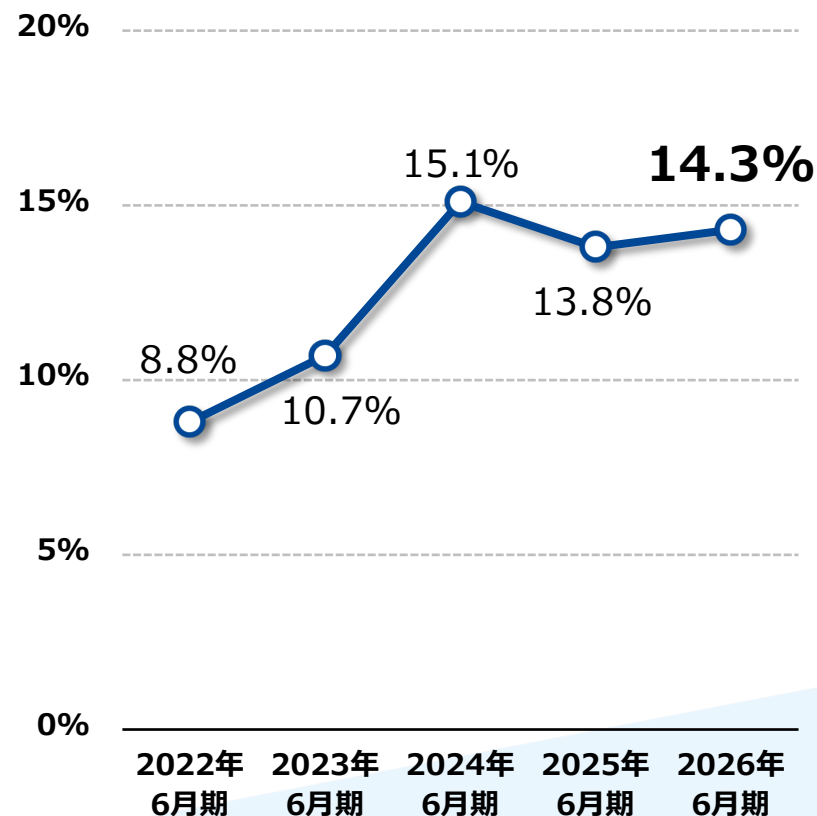
Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 自己資本比率は、過去最高を更新
- ROEは、自己資本の増加に伴い、低下

【 自 己 資 本 比 率 】



【 R O E 】



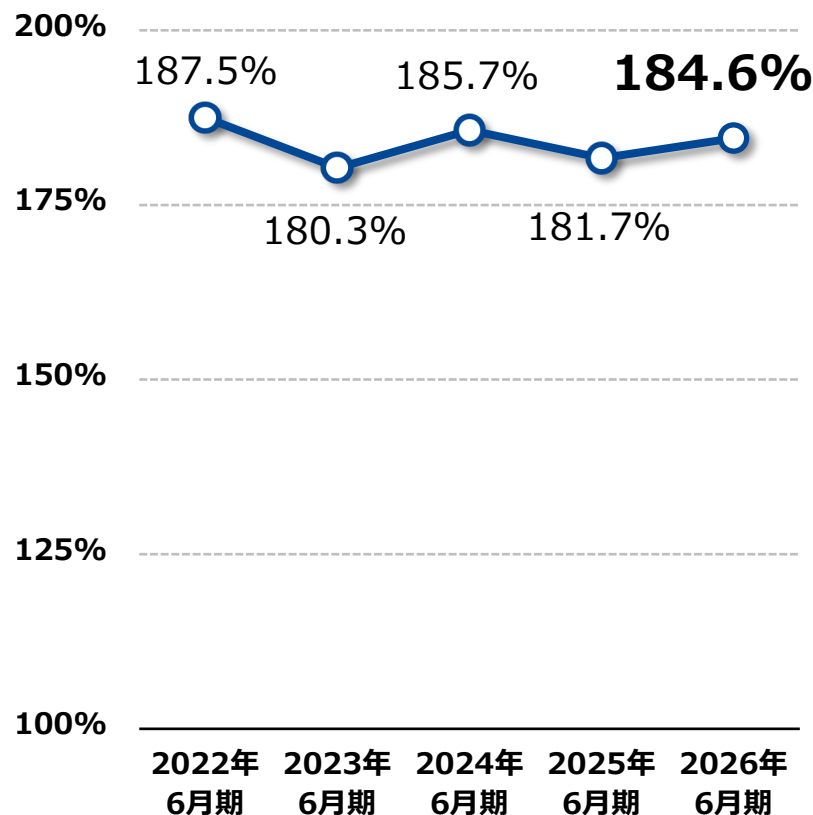
流動比率・固定比率の推移

— 2026年6月期 決算概要 —

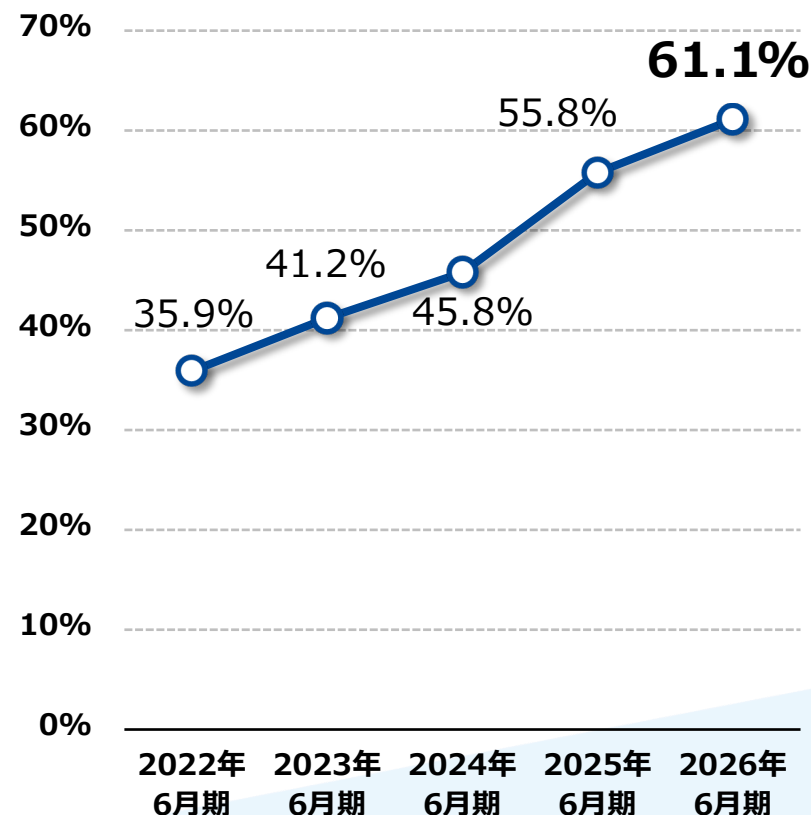
Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 流動比率は、流動資産の増加を受け上昇となる
- 固定比率は、投資有価証券の増加（市場株価上昇等）を受け上昇となる

【 流 動 比 率 】



【 固 定 比 率 】



キャッシュ・フロー計算書

— 2026年6月期 決算概要 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 営業活動によるCFは、継続してプラス
- 現金及び現金同等物の期末残高は、前期比20億62百万円増加

(単位：百万円)	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
営業活動によるCF	1,589	2,802	4,188
投資活動によるCF	△662	△2,445	△ 1,037
財務活動によるCF	△545	△1,021	△ 1,088
現金及び現金同等物の 増加または減少額	380	△663	2,062
現金及び現金同等物 期首残高	9,889	10,270	9,606
現金及び現金同等物 期末残高	10,270	9,606	11,669

営業活動によるCF

税引前当期純利益	4,773,081
売上債権の増加	△1,249
法人税等の支払	△1,298

投資活動によるCF

投資有価証券の取得	△1,065
-----------	--------

財務活動によるCF

配当金の支払い	△1,082
---------	--------

03

2027年6月期 業績予想

2027年6月期 業績予想

— 2027年6月期 業績予想 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 前期比、「減収・減益」を予想
- 利益率は、例年並みに落ち着くと想定

(単位：百万円)	2026年6月期		2027年6月期 予想		
	実績	構成比	予想	構成比	増減額（率）
売上高	45,220	100%	41,000	100%	△4,220 (△9.33%)
営業利益	4,433	9.8%	4,000	9.8%	△433 (△9.8%)
経常利益	4,713	10.4%	4,200	10.2%	△513 (△10.9%)
当期純利益	3,293	7.3%	2,900	7.1%	△393 (△11.9%)

品目別受注残

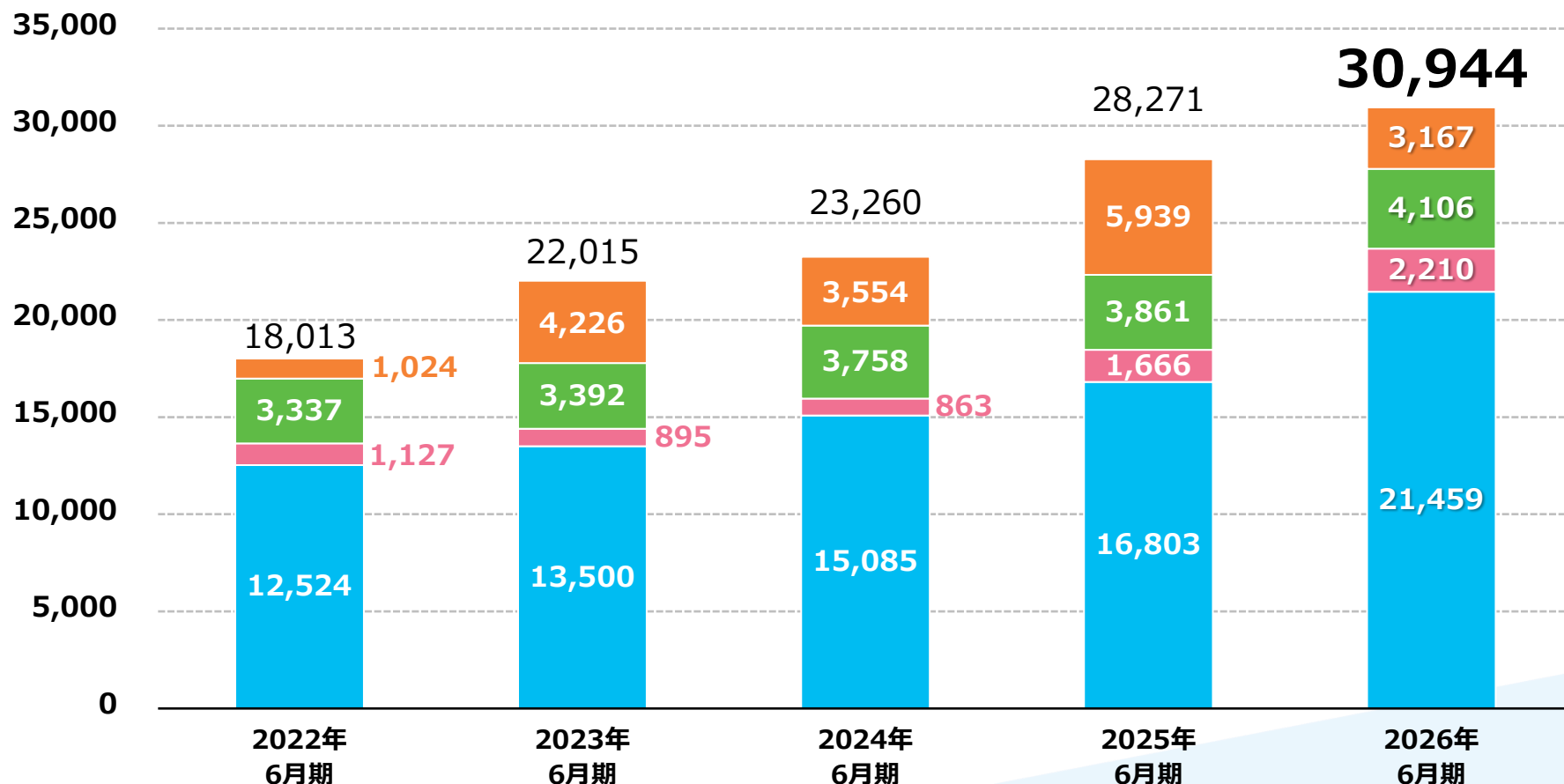
— 2027年6月期 業績予想 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

- 受注残高は、制御・情報機器システムが大きく拡大
- 受注残高は高水準も、翌期以降の売上多く含む

(単位：百万円)

■ 制御・情報機器システム ■ 計測器 ■ 理化学機器 ■ 産業機器、その他

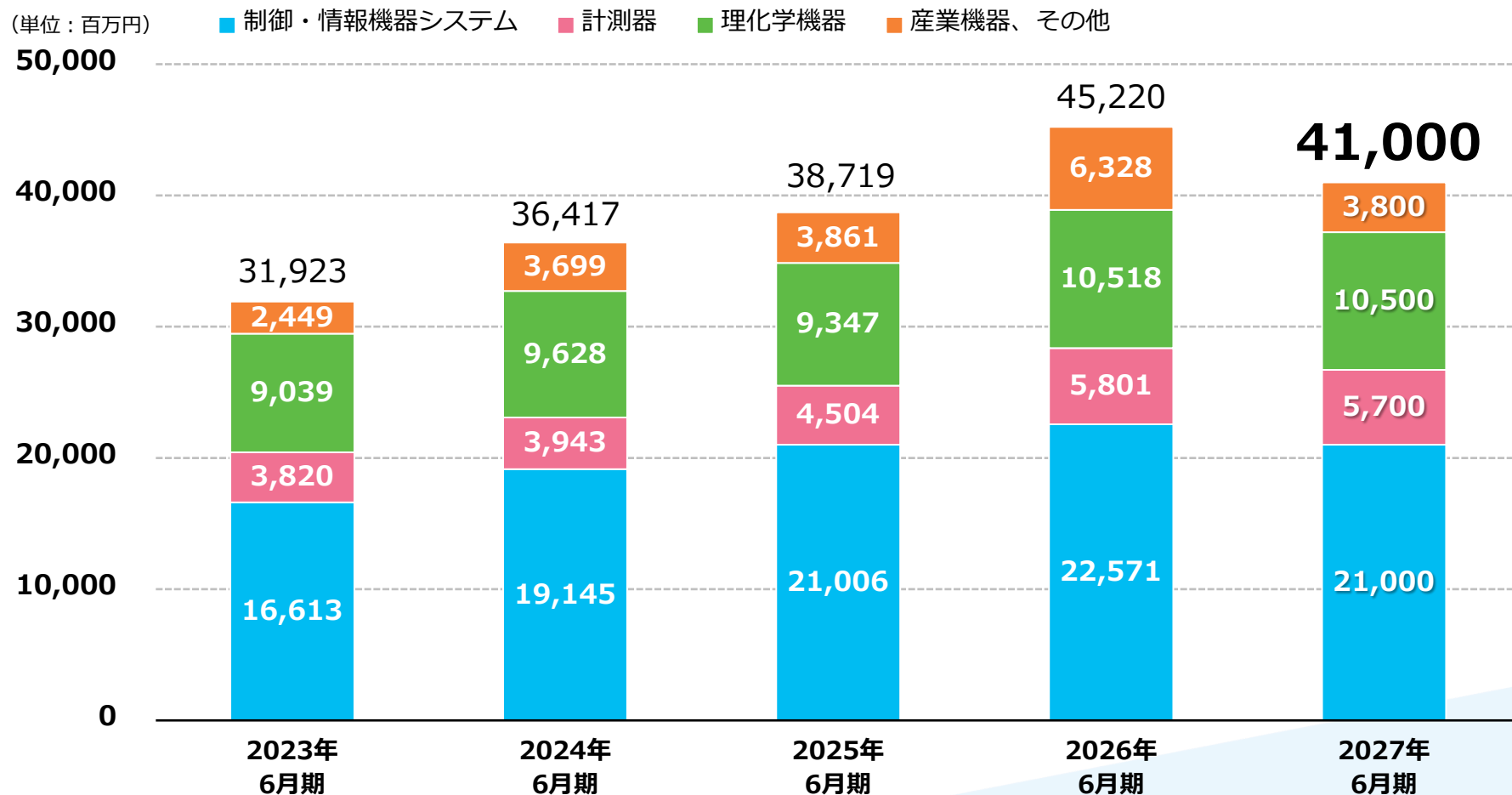


品目別売上高の予想

— 2027年6月期 業績予想 —

Nishikawa
NISHIKAWA KEISOKU

● 受注残高の内容、営業状況等から2027年6月期の売上高は、「減収」を想定



- ライフライン関連は、堅調の見通し
- 受注残高に長期案件含む

戦 略

1. 水道事業

- ・ 水道局向けの浄水場案件の営業を強化
- ・ 水道ビジネスの展開地域を拡大

2. エネルギー事業

- ・ 再生可能エネルギーへの投資を加速
- ・ 脱炭素や低炭素への投資も推進

3. その他PA・FA

- ・ 業種別の営業戦略を策定
- ・ 半導体関連の需要回復を取込

実現に向けた取り組み

- ◆ エンジニアリングの品質確保による顧客からの信頼獲得し、継続受注へ

売上高の見通し

22,571
百万円

2026年6月期



21,000
百万円

2027年6月期



- 通信はネットワークテスト機器の販売拡大
- AI投資増加を背景に半導体向けは拡大

戦 略

1. 通信事業向け測定器

- ・ 測定器等の販売強化
- ・ 光・ネットワークテスト市場の維持・拡大

2. 半導体向けは拡大

- ・ AI関連投資の影響を受け、半導体向けは拡大

実現に向けた取り組み

- ◆ 大手通信業者の構想に見合ったテストを提案
- ◆ 新規メーカーの開拓

売上高の見通し

5,801
百万円

2026年6月期



5,700
百万円

2027年6月期



- 半導体、化学、石油業界の研究開発需要は継続
- 自社ソフトウェアとのコラボで顧客課題を解決

戦 略

1. ソフトウェア開発と販売の強化

- ・ 分析データを総合的に管理するソフトウェア
- ・ 分析業務の管理を強化するソフトウェア

2. 他業界へのアピール

- ・ テロ、犯罪対策、薬物規制、法医学の需要有
- ・ トータルサポート体制（ラボラトリー・トレーニングセンター・サービス、保守）の強化とサポート品目の拡大
- ・ 食品、薬品、医学関連の新商品開発
- ・ 取扱製品の拡大

実現に向けた取り組み

- ◆ 自社開発ソフトとの組みあわせによるソリューション提供

売上高の見通し

10,518
百万円

2026年6月期



10,500
百万円

2027年6月期



弊社オリジナルのラボインフォマティクス商品

● 自動車メーカーの投資戦略に合わせた戦略を推進

戦 略

1. 自動車メーカー向け

- ・ マルチパスウェイ（全方位）への対応
（電気自動車、HV、PHV、等）

2. その他

- ・ 建設機械メーカー向け 電動化投資需要の取り込み

実現に向けた取り組み

- ◆ 個々の自動車メーカーの戦略に沿った提案活動
- ◆ これまでのノウハウを活かした戦略立案

売上高の見通し

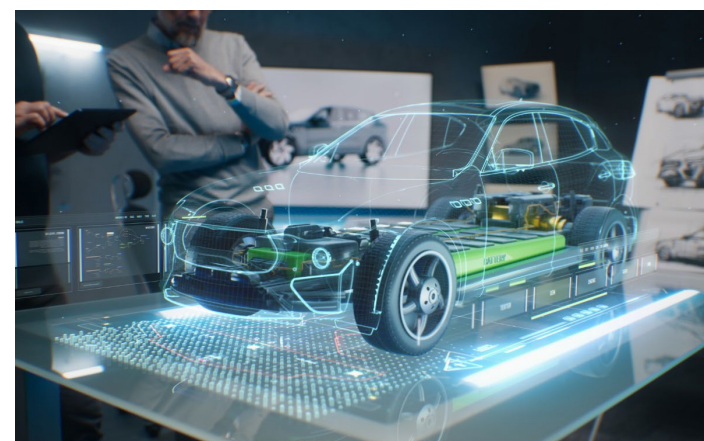
6,328
百万円

2026年6月期



3,800
百万円

2027年6月期

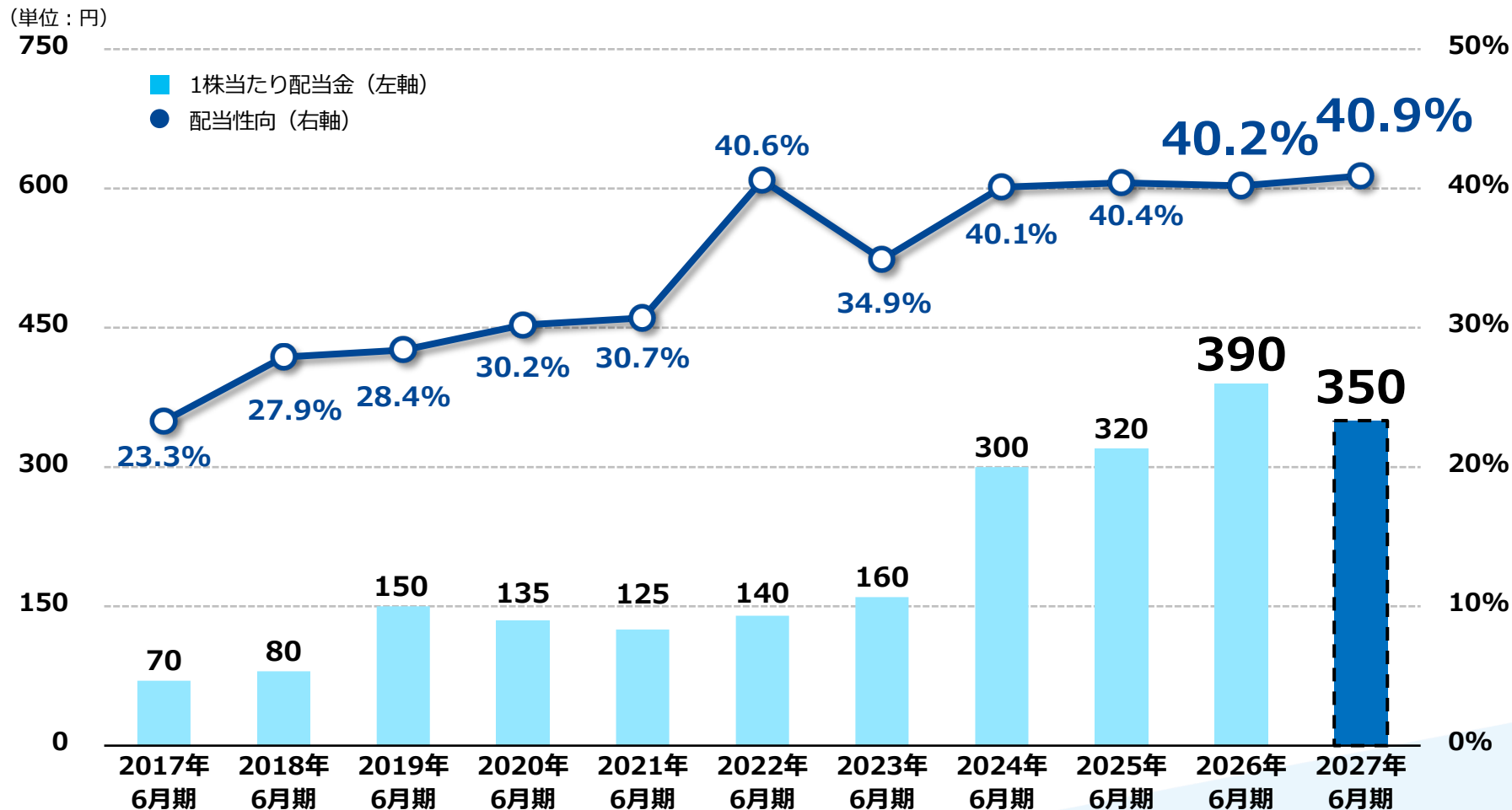


配当金・配当性向の推移

— 中期経営計画の進捗 —

Nishikawa

- 2026年6月期の配当金は、1株当たり390円へ増配
- 引き続き配当性向40%を目途に積極的な株主還元を行う





SSE2028

NISHIKAWA KEISOKU
Nishikawa

Sustainable Strong & Expand 2028

For The Next 100

～「人と技術」で社会を支える～

FY26-FY28 西川計測中期経営計画



経営理念とミッション

- ◆創業からの思いである「相互繁栄の追求」と「社会貢献」。
高い使命感を持った信頼のプロ集団として、「技術の力」で人々の暮らしをより安心できるものにする。
その強い意志が「みんなで良くなろう」という経営理念に込められています。

経営理念

みんなで良くなろう

「計測」「制御」「理化学」のエンジニアリングを基盤として、
あらゆる産業の発展に寄与し、広く社会に貢献していく
ことにより、すべてのステークホルダーが良くなる事を
目指す。

Vision

世の中に必要とされ、役に立ち、 夢を与える企業を目指す

- ・お客様と共に成長し、高い技術と品質で社会に貢献する。
- ・変化を恐れず挑戦し、常に学び、成長し続ける。
- ・社員の健康と豊かな心を大切にし、持続可能な未来を社会と共に築く。

For The Next 100 人と技術で社会を支える

Mission

Value

- 1 お客様の期待を超える
高付加価値のソリューションを提供する
- 2 企業倫理の尊重、法令遵守に努め、
公正な経営を実践する
- 3 環境保護、株主重視経営、雇用等を通じ
社会的責任を果たす
- 4 自立し誇りを持って、
学び成長し続けるプロ集団を目指す

- ◆新たな中期経営計画「Sustainable Strong & Expand 2028」は、2032年の創業100周年に向けた「あるべき姿」を見据え、さらなる成長へのアクセルを踏み込む『広げる』期間です。

前中計で培ったソリューションを新たなお客様へ「広く」展開するとともに、既存のお客様へは当社の技術をさらに「深く」実装してまいります。

Strong & Expand 2025

仕組み化

- ・技術商社のDX化
- ・ソリューションの仕組み化

Sustainable Strong & Expand 2028

広げる

- ・コアビジネスの持続的成長と深化
- ・AI/DXによる付加価値ビジネスの創造
- ・経営基盤の強化と人材育成

次期中期経営計画 ～2031

育てる

- ・AI・DXを組み込んだ高付加価値ビジネスによる経営牽引
- ・他社に追従されない高い技術力を持った人材の維持・強化

2032年 西川計測100周年

For The Next 100
の実現

◆SSE2028では、3つの基盤戦略と2つの事業戦略を推進により、本中期経営計画の目標達成を目指します。

◆持続的成長の原動力は「人」とであると定義し、事業戦略と人材戦略の連動を実現させます。

達成目標

企業価値の向上

- ・ 西川計測が強みとする事業領域の深化と拡大
- ・ 人的資本強化を通して、持続可能な価値創出基盤の創出
- ・ 社会・環境への貢献を通じ、サステナビリティ経営を実践

売上目標 450億円
営業利益 45億円
ROE 10%

事業戦略

コアビジネスの持続的成長と深化

- ・ 市場別優先順位付けと深耕、既存事業の競争力の強化
- ・ AI/DXを起点とした付加価値の創出



AI/DXによる付加価値ビジネスの創造

- ・ 現場のノウハウとデータをAI/DXで統合し、価値化
- ・ AIによるイノベーションの創出

基盤戦略

人的資本の強化

- ・ 経営戦略と人材戦略の連動を通じた人的資本の強化を遂行
- ・ 生産性の向上と新領域R&Dを推進

財務基盤・ガバナンス

- ・ 財務基盤とガバナンスの更なる強化を推進
- ・ 機動力を高めた経営を実践

サステナビリティ経営の実践

- ・ 事業を通じて顧客のサステナビリティ課題を解決し、自社の成長と社会の発展を両立
- ・ 脱炭素・資源循環、サプライチェーンにおける透明性の確保を実現

Nishikawa

NISHIKAWA KEISOKU

本日の説明会ならびに、
IRに関するお問い合わせ等ございましたら、
西川計測株式会社 コーポレート本部までご連絡ください。

TEL : 03-3299-1331
URL : <https://www.nskw.co.jp>